

【活動日誌192】今年度の実務実習が始まりました

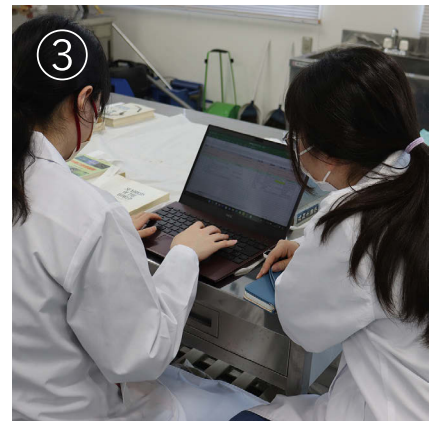
当館は本学で学芸員課程を履修している学生の実習の場としての役割を担っています。先日から今年度の実務実習が始まりました。

初回の実習では本学で資料保存論を担当していただいている奥田先生にお越しいただきました。奥田先生の実習のテーマは「資料の情報整理と展示の立案」です。この実習では、博物館が所蔵する書籍の中から班ごとに展示をしたい本を選んでもらい、書籍のタイトルや発行者、発行年などの情報を整理した上で、書籍の展示方法や展示内容を立案してもらいます。奥田先生による1回目の実習では、資料を扱う上での心得や身だしなみの注意点を教えていただいた上で、学生たちが書籍の選定と情報整理を行いました。

今回の実習のために、博物館が所蔵する書籍の中から、古い動物図鑑、大学史に関連した書籍、図書館から移管を受けた本学の前身校の教員の著書など、様々な種類の書籍を用意しました。その甲斐もあってか、学生たちは興味深そうに書籍を選び、熱心に実習に取り組んでいました。

(学芸員 石井)

博物館実習 # 日本獣医生命科学大学 # 博物館



- ① 講義の様子。書籍を用いた展示の例をいくつか紹介していただき、学生たちが作る展示を考える参考にしてもらいました。
- ② 博物館内で、展示に用いる書籍を学生たち自身に選んでもらっている様子。今回は博物館が収蔵している書籍の中から、231冊を実習で使ってもらえるよう準備しました。
- ③ 選んだ書籍を実習室に持ち帰り、書名、発行年、著者名などの情報を整理している様子。

【活動日誌193】学芸員課程実務実習：資料の整理と展示の立案

活動日誌192で紹介した学芸員課程の受講生の実務実習ですが、各先生方にそれぞれ2回ずつ実習を担当していただくことになっており、先日は資料保存論を担当されている奥田先生の2回目の実習が実施されました。2回目の実習では、前回整理した書籍の情報を踏まえて、班ごとに展示の立案をしてもらいました。

班ごとに選んだ書籍が異なるため、時代による牛の病気の変化や、人と動物の関わりの変化、地球温暖化による鳥類への影響など、展示のテーマも様々です。学生が普段学んでいる内容や、個人的に興味を持っている内容などを踏まえつつ、各班がこだわりを持って展示の案を発表していました。

奥田先生による実習は今回で終了で、次からは馬谷原先生のご指導による植物や昆虫の標本づくりを行う予定です。

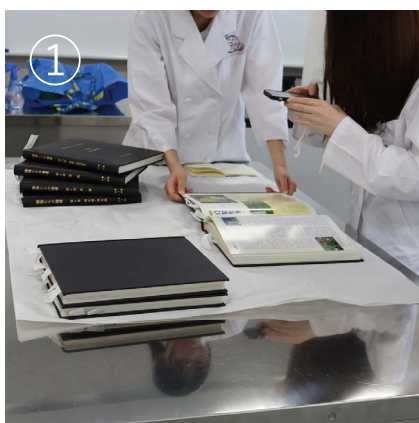
（学芸員 石井）

#博物館実習 #日本獣医生命科学大学 #博物館

■【活動日誌192】今年度の実務実習が始まりました

<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid0cMnm5g3jydeAK5cPtbgMaEWi3WuazZdyGe5UQhhG6BqNtEpQVisgrtpH2DVRreiSI>

奥田先生による1回目の実習の様子はこちらの記事にて紹介しています。



- ① 発表資料を作製するために実習室に持って来た資料の記録を撮る様子。撮った写真は実習中のみ利用することとしています。
- ② 発表資料を作製する様子。
- ③ 班ごとの発表の様子。

【活動日誌194】高校生の見学を受け入れました

先日は本学の受験を検討されている「習志野市立習志野高等学校」の学生さんが大学見学のために来校され、博物館を見学されました。博物館では一般のお客様だけでなく、本学への進学を希望されている方の見学も受け入れています。受験生による大学の見学については本学の入試課が窓口となっていますので、ご興味のある方はまずは入試課までお問合せください。

なお、その他にも博物館では本学の受験生向けイベントのオープンキャンパス等でも特別に開館し、受験生の皆様に博物館をご見学いただけるようにしています。受験生のみなさまのご来館をお待ちしています。

(学芸員 石井)

#大学見学 #日本獣医生命科学大学 #博物館

■お問合せ

<https://www.nvlu.ac.jp/inquiry/inquiry.html/>

入試課を含むお問合せ先の一覧です

■オープンキャンパス 7.21(日)

<https://www.nvlu.ac.jp/nichijyunavi/news/202400603-001.html>

次回の本学のオープンキャンパスの情報はこちらを御覧ください



- ① 一号棟の歴史について、麻布区役所だった時代の写真と比べてご説明しました。
- ② 自然系展示室の見学の様子。

【活動日誌195】学芸員課程実務実習：植物標本・昆虫標本の作成1

6月6日の記事に引き続き、学芸員課程履修生を対象とした実務実習の様子を紹介します。先日は、本学で生涯学習概論を担当されている馬谷原先生により、「自然史資料の収集・資料化」をテーマとした1回目の実習が実施されました。

この実習では、植物のさく葉標本とチョウ類の昆虫標本を作成します。本学では獣医学部の獣医保健看護学科と応用生命科学部の動物科学科の2学科の学生が学芸員課程を履修できますが、両学科とも植物や昆虫に接する機会は多くはありません。特に昆虫は苦手な学生もいるようで、最初のうちは戸惑っているようでしたが、皆熱心に取り組んでいました。

馬谷原先生による実習の2回目では、標本作成作業の続きと作成した標本の情報整理を行う予定です。

(学芸員 石井)

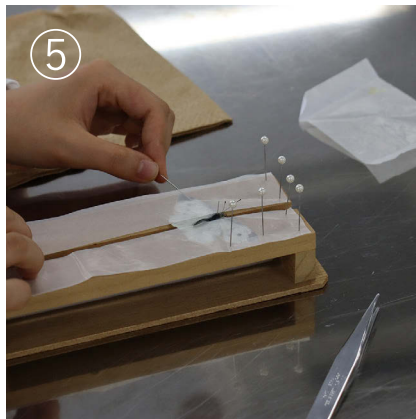
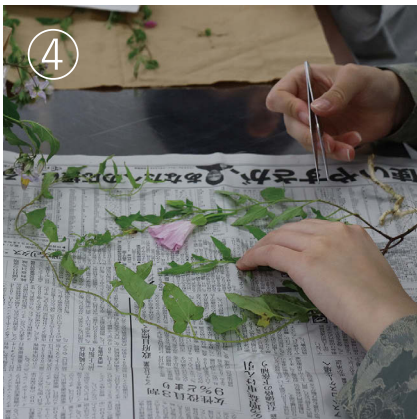
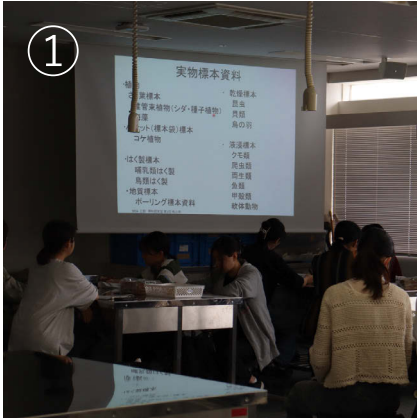
#博物館実習 #日本獣医生命科学大学 #博物館

■【活動日誌193】学芸員課程実務実習：資料の整理と展示の立案

<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid0jj8dUbSfQLppQXTvD3hvMXQmpRM9xMYMrYUsZMVNbxhHbf6KXp1EiopyweoXDfQpl>

前回紹介した奥田先生による2回目の実習の様子はこちらの記事にて紹介しています。

2024年6月13日の記事



- ① 講義の様子
- ② さく葉標本を作製するために学内で植物採集を行っている様子
- ③ 採集した植物の根に付着した泥を水洗いして取り除いている様子
- ④ 標本を作製するために整形している様子
- ⑤ チョウを展翅板で整形している様子

【お知らせ】企画展の会期終了が迫っています！

現在当館では、第1回企画展「キリンが来た道～麒麟児 長次郎の歩み～」を開催しています。この企画展では、上野動物園で生まれ、井の頭自然文化園にて死亡した「長次郎」の歩んできた歴史を紹介しています。

本企画展は5月31日の終了を予定しておりましたが、好評につき会期を延長し、「世界キリンの日(World Giraffe Day)」である6月21日まではご覧いただくことが可能です。もう間もなく会期終了となりますので、ご興味のある方はお早めに当館までお越しください！

※来館には下記来館案内のページにある個別見学予約フォームからの予約が必要です。

#WorldGiraffeDay #キリン #日本獣医生命科学大学 #博物館

■【会期延長】日本獣医生命科学大学附属博物館第1回企画展

「キリンが来た道～麒麟児 長次郎の歩み～」

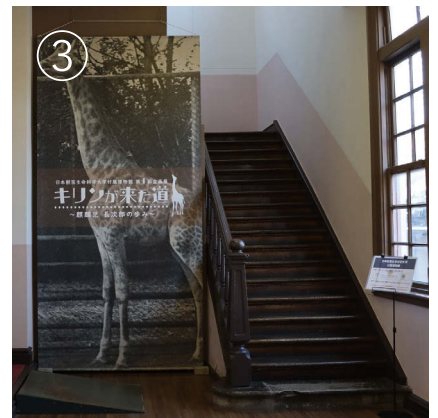
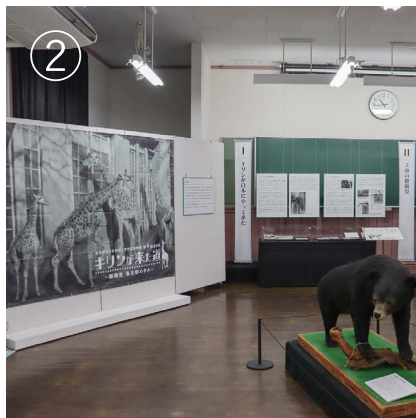
<https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/news/20231023-01.html/>

企画展の詳細はこちらをご覧ください

■来館案内

<https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/004/access/index.html/>

ご見学をご希望の方は「個別見学予約フォーム」よりご予約をお願いいたします



- ① 企画展の主役である長次郎
- ② 企画展の入口の様子
- ③ 企画展に合わせて作成した長次郎の等身大タペストリーももうすぐ見納めです

【活動日誌196】キツツキ類の巣穴

博物館では自然史資料の一環として鳥の巣も収集しており、過去には学内でもキジバト、ヒヨドリ、オナガなどの巣を回収し、標本としています。

今回は、外部の方からキツツキ類の巣があった木を伐採したものを提供していただきました。入り口部分の中に入っていた巣材を取り出すために少し広げてしまったとのことでしたが、巣穴自体は形が残っているとのことだったため、展示物として活用するために、巣穴に沿って木を切ることになりました。

切断して中をみると、少し古い巣穴だったようで、巣穴の側面には虫が掘った穴がたくさん開いていました。また、巣穴の底部分は切断面よりも少し深かったようで、底が抜けていたことがわかりました。また、穴の中に木くずなどとともに古くなった羽などが少し残っていましたので、そちらも洗浄した上で巣穴とともに保存する予定です。

キツツキ類の巣穴の断面が見られる機会はなかなかありませんので、博物館では展示物として今後活用したいと考えています。

(スタッフ 廣瀬)

#鳥 #鳥の巣 #日本獣医生命科学大学 #博物館



- ① 穴に沿って木を切る様子。上面にはキノコが生えていて、かなり腐朽が進んでいた。
- ② 切断した巣穴の様子。巣穴の底の方には、切断した際に出た木くずも混ざっているが、古くなった元の巣材も残っていた。

【活動日誌197】企画展の会期が終了しました

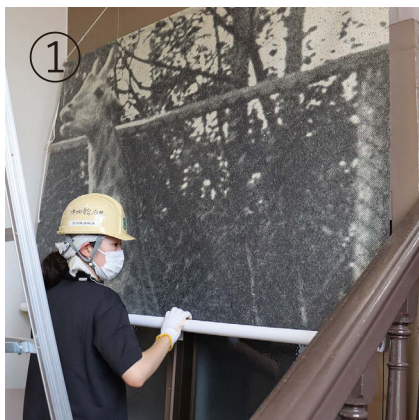
昨年11月から開催していた当館の第一回企画展「キリンが来た道～麒麟児 長次郎の歩み～」の会期が6月21日をもって終了しました。会期中は多くの方にご来館いただくことができ、大変嬉しく思います。

本日は臨時休館日とし、企画展の片付け作業を行いました。細かな片付け作業は来週以降も続きますが、大型の展示物である長次郎の等身大タペストリーの撤去と、企画展と常設展示を区切るパーティションの移動が完了しています。

今年も、夏・秋・冬と様々な展示を行う予定です。今後の当館の活動にどうぞご期待ください。

(学芸員 石井)

#キリン #日本獣医生命科学大学 #博物館



- ① 等身大タペストリーを撤去する様子
- ② 企画展ゾーン入口の解説パネルを取り外す様子
- ③ 企画展は終了しましたが、長次郎の骨格標本の展示は継続しています

【お知らせ198】学芸員課程実習：掛け軸の取り扱い

学芸員課程の実務実習が続いています。先日は本学で博物館展示論を担当されている蔵田先生により「絵画・書籍の展示」をテーマとした実習の1回目が実施されました。

実習では、まず蔵田先生に掛け軸の構造や掛け方、しまい方を教えていただきました。その後、学生一人一人が実際に、掛け軸を軸箱から取り出し、掛け、巻き取り、軸箱に戻すところまで、一連の動作を体験しました。また、掛け軸に書かれている内容の読み取りにも挑戦をしました。

蔵田先生による2回目では、書籍を展示するための台の作り方を教えていただく予定です。

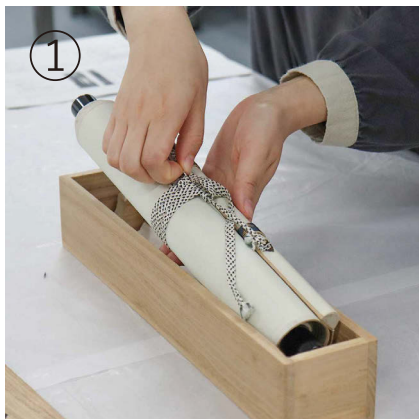
(学芸員 石井)

#博物館実習 #日本獣医生命科学大学 #博物館

■【活動日誌195】学芸員課程実務実習：植物標本・昆虫標本の作成1

<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid02dZusFSgQYrsnq6hxh5jscEDAPZP7PRXbQ5wo9L13DnDkQ7cQBeoa7ST1yjoxehkWI>

前回紹介した馬谷原先生による1回目の実習の様子はこちらの記事にて紹介しています。



- ① 軸箱から掛け軸を出す学生の様子
- ② 掛け軸を壁に掛ける学生の様子
- ③ 掛け軸を鑑賞し、書かれている内容の読み取りに挑戦しました

【活動日誌199】学芸員課程実習：展示台の作製

今年度の学芸員課程実務実習も残りわずかとなりました。本日の記事では藏田先生による2回目の実習の様子を紹介します。

藏田先生の実習のテーマは「絵画・書籍の展示」ということで、1回目は絵画(掛け軸)の取り扱いを教えてくださいましたが、2回目の実習では書籍の展示台の作り方を教えてくださいました。学生たちは、展示候補の書籍の中から興味のある一冊を選び、書誌情報をまとめた手書きのキャプションを作ってから、一冊一冊に合わせた展示台を作成しました。展示台の大きさを決めるには、各自が選んだ本の大きさや、開くページ、展示する時の本の開き具合を考慮しながら設計図を描く必要があります。藏田先生には展示した時に美しく見えるためのコツを教えてください、実習の最後には各自が作ったキャプションと展示台を活用したミニ展覧会を開催しました。

(学芸員 石井)

#博物館実習 #日本獣医生命科学大学 #博物館

■【活動日誌198】学芸員課程実習：掛け軸の取り扱い

<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid0k4uduDUz554KKA2gkeCYP8V4Y9wyKVSWonxCBwbCweJ4bCvKwyUSyj2CaqC532EmI>

前回の実習の様子はこちら



- ① 展示する書籍を選ぶ学生
- ② 展示台の設計図を描く学生
- ③ 展示台の上に本を並べ、ミニ展覧会を実施しました